



萌木

3月号



調布市立第七中学校

校長 山田 勝

令和8年3月11日発行

～自尊・立志・感動～

「目標達成」のための原点とベクトル

校長 山田 勝

3月も半ばを迎え、3学期もあと少し。学校生活も1年間のまとめの時期に入り、来週には卒業式が控えています。

4月からの新しい環境の中でのスタートをよりよく切って自分の成長への道筋をつけるためにも、この1年間を振り返り自分の進む道、目標を立て、目標達成のための計画を整えておくことが、この時期とても大切なことです。

進学や進級をし、クラス替えという自分の周りの環境が変わることを受け入れる準備も必要ですが、その中でどんな成長をどのように進めていきたいか目標達成の計画を立てることがとても大切です。しかし、立てた計画もどのように実行に移すのかまで事前に準備できているでしょうか。

自分がたてた目標の原点をはっきりさせることは、目標達成のために極めて重要なことです。ただ、目標を立てて待っているだけでとどまっていたら、せっかく目標を立てて頑張ろうと思った気持ちが生きてきません。次のステップに進むために必要なことに取り組めるようにしたいものです。

それは目標達成に向けて原点からどの方向にどのくらいの力で進んでいくかということです。どの方向にどのくらいの力を表すものとして「ベクトル」という指標があります。目標をたてた原点をしっかりとらえ、達成に向けた自己の力のベクトル、どの方向にどのくらいの力で進むのか。やみくもに頑張るだけでなく、原点とベクトル、この二つを意識して一人一人の目標達成に向けて頑張ることにより大きく成長できます。

この3月、七中でも、ただ計画を立てることを呼びかけるのではなく、現状を分析・把握することを取り込む姿勢を持って、さらに目標達成に向け実行することを意識して、生徒に向き合っていきたいと思います。

今年度を振り返って

この1年間、保護者の皆様におかれましては第七中学校の教育活動につきましてご理解・ご協力をいただきありがとうございました。

新型コロナウイルスが最優先ではない生活が日常となったアフターコロナ元年の1年でしたが、異常気象やインフルエンザの感染対策に追われた1年でもありました。

この1年七中では朝トークや授業時の話し合いなどアウトプットを取り入れ、知識等の定着を図り、確かな学力の獲得を目指すことを中心に進めてきました。このことは、2次的にも生徒一人一人の心の居場所の担保、絆づくりにもつながっています。

安心して仲間と共に学ぶことができる環境づくりをこれからも精度を上げ構築していきたいと思います。

今後とも、保護者の皆様と共に生徒と向き合い、生徒が各自の夢や目標を達成することを見守り援助していきたいと思います。